

平成27年度 第3回

杉並区区政モニターアンケート

集計結果報告書

「杉並区環境基本計画」と「環境配慮行動指針」について



平成27年12月実施

杉並区総務部区政相談課

「杉並区環境基本計画」と「環境配慮行動指針」について (平成27年度第3回区政モニターアンケート)

調査の概要

1 調査の目的

杉並区では、平成25年11月に「杉並区環境基本計画(平成25年度～平成33年度)」を改定しました(杉並区環境基本計画の中に環境配慮行動指針を含みます)。

これは、杉並区環境基本条例に基づき、地域の環境を総合的かつ計画的に保全し、地球環境の保全にも貢献していくための計画です。

つきましては、この環境基本計画と環境配慮行動指針について、今後の普及啓発活動の参考とするためアンケートへのご協力をお願いします。

※このアンケートの問いに関する内容についてのお問合せは、環境部環境課庶務係(電話3312-2111 内線3703)までお願いします。

2 調査の内容

「杉並区環境基本計画」と「環境配慮行動指針」について

3 調査期間

平成27年12月4日～ 12月17日

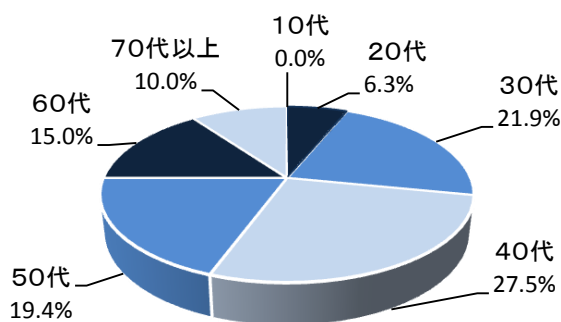
4 回答者数

160人

5 回答者構成

単位:人

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計	男女比
男性	0	4	13	23	12	14	9	75	46.9%
女性	0	6	22	21	19	10	7	85	53.1%
合計	0	10	35	44	31	24	16	160	
	0.0%	6.3%	21.9%	27.5%	19.4%	15.0%	10.0%		



6 集計・分析にあたって

(1) 各項の初めにあるNは、回答者数を表しています。

(2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆基本事項についてお聞きします。(すべての方)

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

※ 結果については、上記『調査の概要 「5 回答者構成」』のとおり

問2. あなたの年齢は次のうちどれですか。(○は1つ)

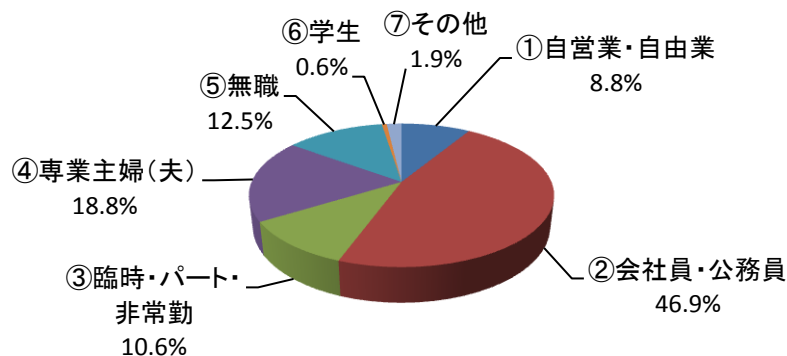
※ 結果については、上記『調査の概要 「5 回答者構成」』のとおり

問3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

N=160

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
		人数	割合	男性	女性				
① 自営業・自由業	14	8.8%	男性	11	0	2	6	3	
			女性	3	0	1	2	0	
② 会社員・公務員	75	46.9%	男性	43	3	30	10	0	
			女性	32	3	21	8	0	
③ 臨時・パート・非常勤	17	10.6%	男性	5	0	1	3	1	
			女性	12	1	6	5	0	
④ 専業主婦(夫)	30	18.8%	男性	0	0	0	0	0	
			女性	30	1	15	10	4	
⑤ 無職	20	12.5%	男性	14	0	2	7	5	
			女性	6	1	0	3	2	
⑥ 学生	1	0.6%	男性	1	1	0	0	0	
			女性	0	0	0	0	0	
⑦ その他	3	1.9%	男性	1	0	1	0	0	
			女性	2	0	0	1	1	
合計	160	100.0%	男性	75	4	36	26	9	
			女性	85	6	43	29	7	

※「⑦その他」を選択した方の具体的な職業… 私大教員、司法書士

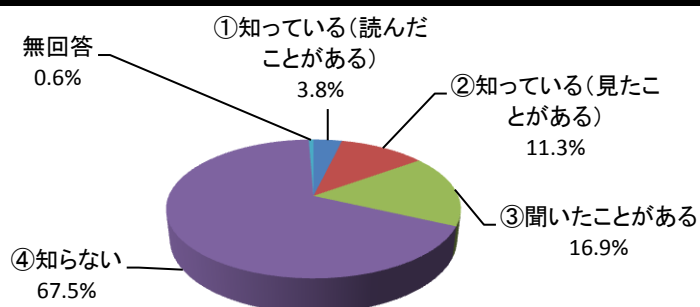


◆「環境基本計画(環境配慮行動指針)」についてお尋ねします。

問4 あなたは、「環境基本計画(環境配慮行動指針)」を知っていますか。(○は1つ)

N=160

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
		人数	割合	男性	女性				
① 知っている(読んだことがある)	6	3.8%	男性	4	0	0	2	2	
			女性	2	0	0	1	1	
② 知っている(見たことがある)	18	11.3%	男性	7	0	2	4	1	
			女性	11	0	3	6	2	
③ 聞いたことがある	27	16.9%	男性	14	1	6	6	1	
			女性	13	2	9	2	0	
④ 知らない	108	67.5%	男性	50	3	28	14	5	
			女性	58	4	31	20	3	
無回答	1	0.6%	男性	0	0	0	0	0	
			女性	1	0	0	0	1	
合計	160	100.0%	男性	75	4	36	26	9	
			女性	85	6	43	29	7	



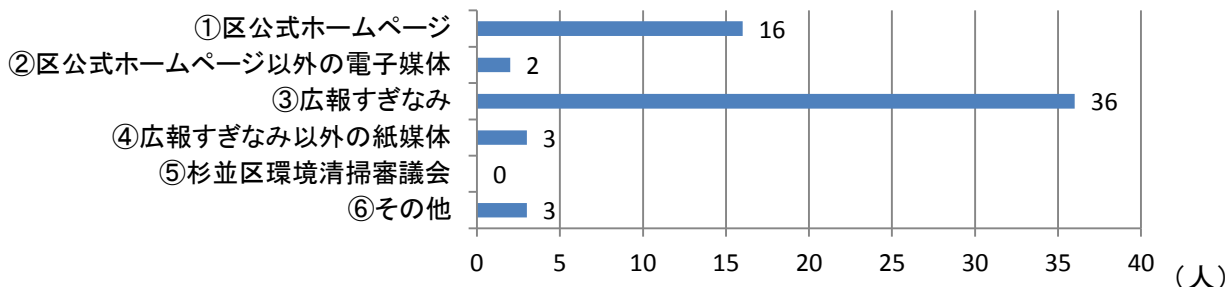
(【問4】で①・②・③と回答した方にお尋ねします。)

問5 あなたは、どこで「環境基本計画(環境配慮行動指針)」を知りましたか。(複数回答可)

N=51

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
		人数	割合	男性	女性				
① 区公式ホームページ		16	26.7%	男性	9	1	3	4	1
				女性	7	1	4	1	1
② 区公式ホームページ以外の電子媒体		2	3.3%	男性	0	0	0	0	0
				女性	2	0	1	1	0
③ 広報すぎなみ		36	60.0%	男性	19	1	6	9	3
				女性	17	1	7	6	3
④ 広報すぎなみ以外の紙媒体		3	5.0%	男性	1	0	0	1	0
				女性	2	0	1	1	0
⑤ 杉並区環境清掃審議会		0	0.0%	男性	0	0	0	0	0
				女性	0	0	0	0	0
⑥ その他		3	5.0%	男性	2	0	1	1	0
				女性	1	0	1	0	0
合計		60	100.0%	男性	31	2	10	15	4
				女性	29	2	14	9	4

※「⑤その他」を選択した方の意見… ・ニュースか新聞



(【問4】で④と回答した方にお尋ねします。)

問6 あなたは、どのようにすれば「環境基本計画(環境配慮行動指針)」が広まると思いますか。(複数回答可)

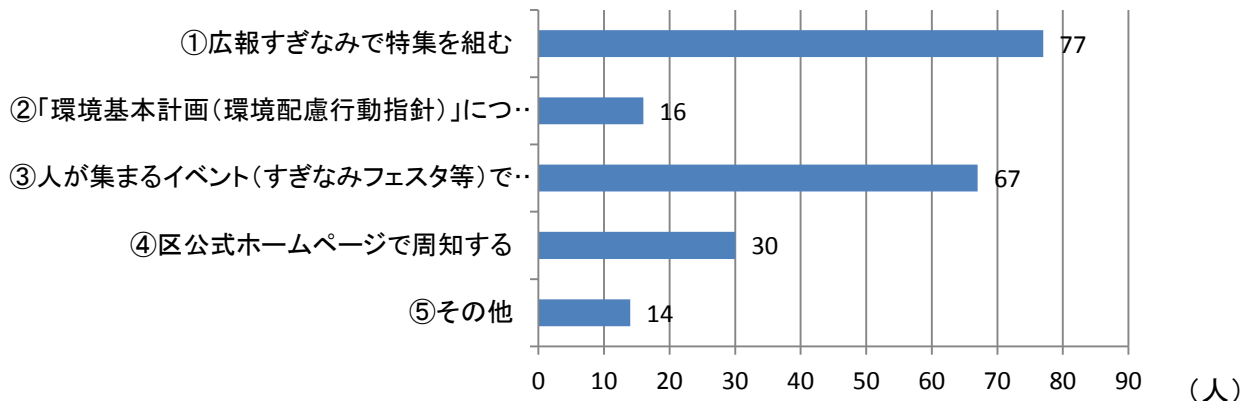
N=108

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
		人数	割合	男性	女性				
① 広報すぎなみで特集を組む		77	37.7%	男性	38	0	24	9	5
				女性	39	0	21	17	1
② 「環境基本計画(環境配慮行動指針)」についてのセミナー(講演会)等を開催する		16	7.8%	男性	11	1	2	3	5
				女性	5	1	2	2	0
③ 人が集まるイベント(すぎなみフェスタ等)でチラシを配布したりして周知する		67	32.8%	男性	29	2	14	9	4
				女性	38	4	18	13	3
④ 区公式ホームページで周知する		30	14.7%	男性	13	1	6	4	2
				女性	17	1	11	4	1
⑤ その他		14	6.9%	男性	7	1	4	2	0
				女性	7	0	4	3	0
合計		204	100.0%	男性	98	5	50	27	16
				女性	106	6	56	39	5

※「⑤その他」を選択した方の意見…

- ・各戸にチラシを配布する。(経費は最大だが外出しない人にも知らせることが出来る。)等。(同様意見4件)
- ・当該項目だけを大きく記載したチラシを新聞折込に入れる。
- ・ごみ出しアプリに広告を掲載。
- ・区民の利用が多い施設(駅等)でポスター掲示・パンフレット配布等。(同様意見2件)
- ・駅、商業施設、図書館、道路の掲示板へのポスター貼付等。広報すぎなみは新聞を取っていないとポストに入らない。区主催のイベントにも参加しない、自発的にホームページを検索したりしないような人(区民)にまで広く知らせるには、駅や公共施設の目につくようなところにポスターを貼って頂く以外、目にする事は難しいと思う。

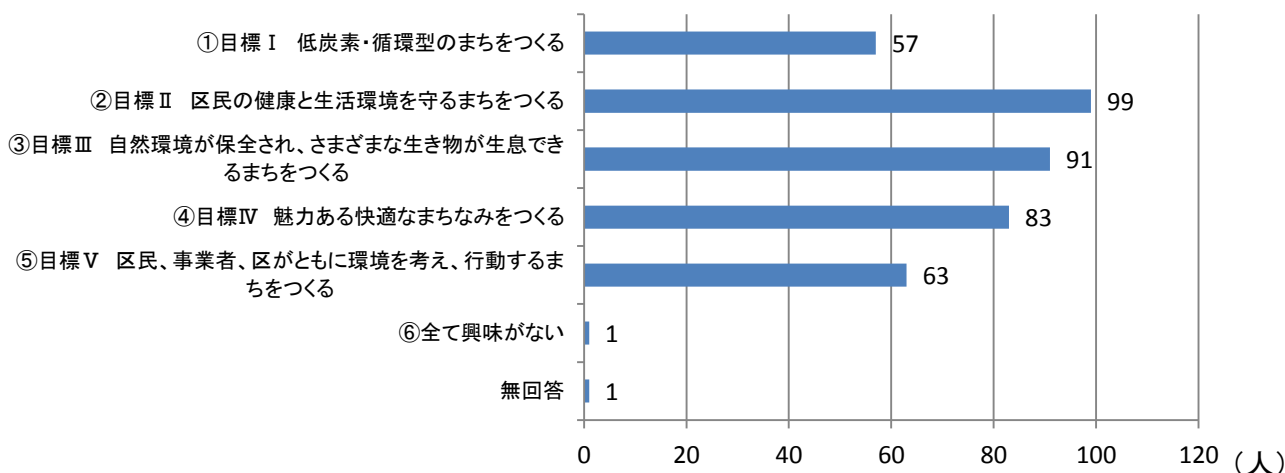
- ・図書館、地域区民センターなどにもチラシ、パンフレットを置く。
- ・病院や学校など公共施設でのPR。
- ・存在自体を知ってもらうため(一時的に)関東ローカルのCMを流す。ただ、コストがかかるので区の独自策ではなく都や関東圏で手法を統一するなどの工夫を行う。
- ・映像番組(CATV)、ネット配信等で広報。
- ・イベントなどで周知する際にチラシだけでなく区民参加型のワークショップなどを行い、実際に自分に関係のある問題であることを伝える必要があると思う。



問7 「環境基本計画」は、5つの目標から成り立っています。この目標の中で、あなたが興味のあるものはどの目標ですか。(複数回答可)

N=160

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 目標Ⅰ 低炭素・循環型のまちをつくる	57	14.4%	男性	32	1	17	10	4
			女性	25	1	13	9	2
② 目標Ⅱ 区民の健康と生活環境を守るまちをつくる	99	25.1%	男性	42	4	17	16	5
			女性	57	4	27	21	5
③ 目標Ⅲ 自然環境が保全され、さまざまな生き物が息できるまちをつくる	91	23.0%	男性	44	2	20	19	3
			女性	47	1	25	17	4
④ 目標Ⅳ 魅力ある快適なまちなみをつくる	83	21.0%	男性	36	3	18	12	3
			女性	47	4	24	15	4
⑤ 目標Ⅴ 区民、事業者、区がともに環境を考え、行動するまちをつくる	63	15.9%	男性	23	3	8	8	4
			女性	40	2	19	15	4
⑥ 全て興味がない	1	0.3%	男性	0	0	0	0	0
			女性	1	1	0	0	0
無回答	1	0.3%	男性	0	0	0	0	0
			女性	1	0	0	0	1
合計	395	100.0%	男性	177	13	80	65	19
			女性	218	13	108	77	20

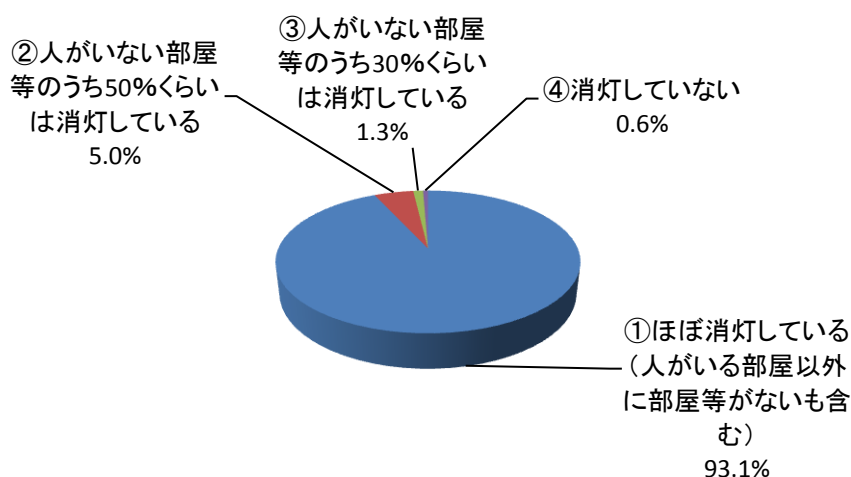


◆「環境配慮行動指針」についてお尋ねします。

問8 あなたは、自宅で人がいない部屋などの照明は消していますか。(〇は1つ)

N=160

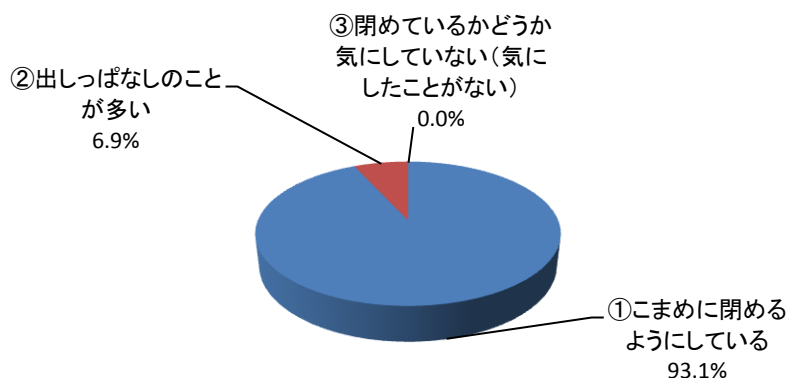
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① ほぼ消灯している(人がいる部屋以外に部屋等がないも含む)	149	93.1%	男性	69	4	32	24	9
			女性	80	5	40	28	7
② 人がいない部屋等のうち50%くらいは消灯している	8	5.0%	男性	4	0	3	1	0
			女性	4	1	2	1	0
③ 人がいない部屋等のうち30%くらいは消灯している	2	1.3%	男性	1	0	0	1	0
			女性	1	0	1	0	0
④ 消灯していない	1	0.6%	男性	1	0	1	0	0
			女性	0	0	0	0	0
合計	160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
			女性	85	6	43	29	7



問9 あなたは水道の蛇口をこまめに閉めていますか。(〇は1つ)

N=160

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① こまめに閉めるようにしている	149	93.1%	男性	70	3	34	24	9
			女性	79	4	40	28	7
② 出しばなしのことが多い	11	6.9%	男性	5	1	2	2	0
			女性	6	2	3	1	0
③ 閉めているかどうか気にしていない(気にしたことがない)	0	0.0%	男性	0	0	0	0	0
			女性	0	0	0	0	0
合計	160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
			女性	85	6	43	29	7



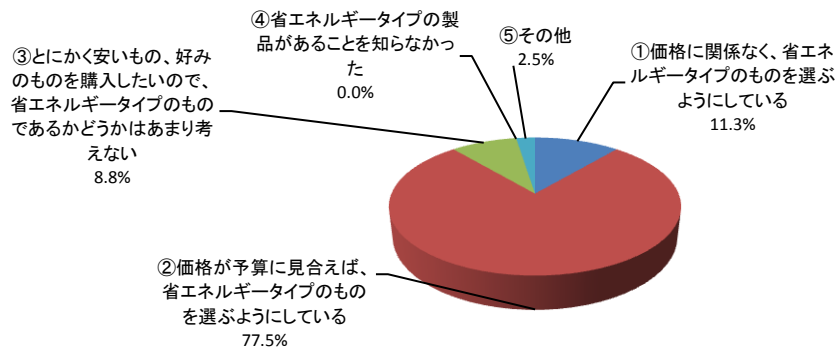
問10 あなたは家電製品・車等を購入する際は、省エネルギータイプのものを選んでいきますか。(○は1つ)

N=160

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	価格に関係なく、省エネルギータイプのものを選ぶようにしている	18	11.3%	男性	6	0	2	3	1
				女性	12	0	0	8	4
②	価格が予算に見合えば、省エネルギータイプのものを選ぶようにしている	124	77.5%	男性	57	2	30	18	7
				女性	67	4	40	20	3
③	とにかく安いもの、好みのものを買いたいので、省エネルギータイプのものかどうかはあまり考えない	14	8.8%	男性	10	2	4	3	1
				女性	4	1	2	1	0
④	省エネルギータイプの製品があることを知らなかった	0	0.0%	男性	0	0	0	0	0
				女性	0	0	0	0	0
⑤	その他	4	2.5%	男性	2	0	0	2	0
				女性	2	1	1	0	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7

※「⑤その他」を選択した方の意見…

- ・省エネルギータイプより、機能と価格を優先して選んでいる。
- ・省エネのものを選びたい気持ちは強いがデザインも重視したいので、様々な判断材料から選んでしまっている。
- ・家電をなるべく使わないようにしている。



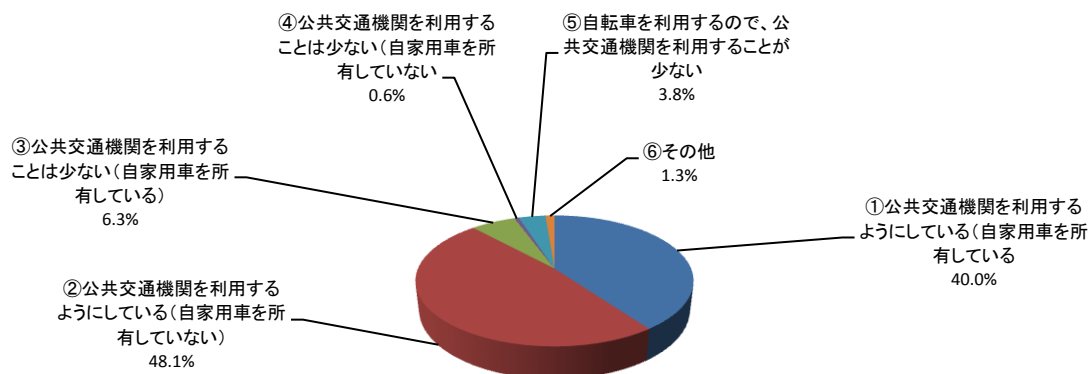
問11 あなたは自家用車の使用を控えて、なるべく公共交通機関を利用するようにしていますか。(○は1つ)

N=160

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	公共交通機関を利用するようにしている(自家用車を所有している)	64	40.0%	男性	31	1	12	14	4
				女性	33	1	19	7	6
②	公共交通機関を利用するようにしている(自家用車を所有していない)	77	48.1%	男性	30	3	16	7	4
				女性	47	4	22	20	1
③	公共交通機関を利用することは少ない(自家用車を所有している)	10	6.3%	男性	8	0	6	2	0
				女性	2	0	0	2	0
④	公共交通機関を利用することは少ない(自家用車を所有していない)	1	0.6%	男性	0	0	0	0	0
				女性	1	0	1	0	0
⑤	自転車を利用するので、公共交通機関を利用することが少ない	6	3.8%	男性	4	0	2	1	1
				女性	2	1	1	0	0
⑥	その他	2	1.3%	男性	2	0	0	2	0
				女性	0	0	0	0	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7

※「⑥その他」を選択した方の意見…

- ・行き先や荷物の状況などを考慮して、自家用車と公共交通機関の利便性やコスト・運賃を比較して、その都度選択している。
- ・目的地、用件、荷物の有無で、自転車、自動車、公共交通を使い分けている。

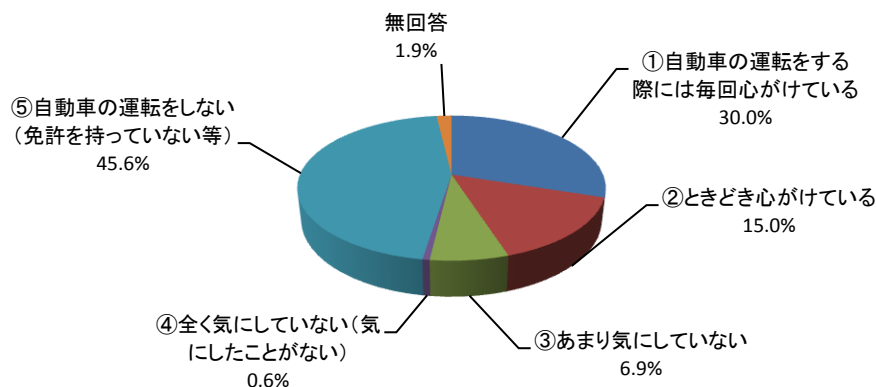


問12 あなたはエコドライブ(※1)を心がけていますか。(○は1つ)

※1エコドライブ…環境に配慮した自動車の使用のこと。具体的にはやさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングをやめたり等をして燃料の節約に努め地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素(Co2)の排出量を減らす運動のこと。(エコドライブ普及推進協議会HPより)

N=160

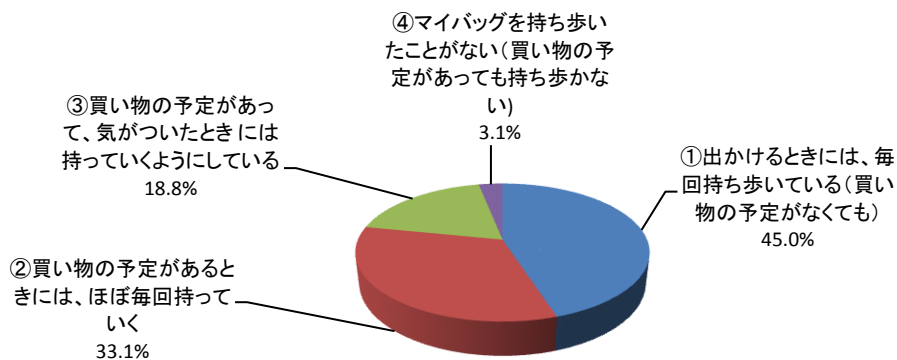
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	自動車の運転をする際には毎回心がけている	48	30.0%	男性	30	0	12	14	4
				女性	18	2	10	5	1
②	ときどき心がけている	24	15.0%	男性	15	0	11	4	0
				女性	9	0	5	3	1
③	あまり気にしていない	11	6.9%	男性	8	2	4	1	1
				女性	3	0	2	1	0
④	全く気にしていない(気にしたことがない)	1	0.6%	男性	0	0	0	0	0
				女性	1	0	1	0	0
⑤	自動車の運転をしない(免許を持っていない等)	73	45.6%	男性	22	2	9	7	4
				女性	51	4	25	19	3
無回答		3	1.9%	男性	0	0	0	0	0
				女性	3	0	0	1	2
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問13 あなたはマイバッグを持っていますか。(〇は1つ)

N=160

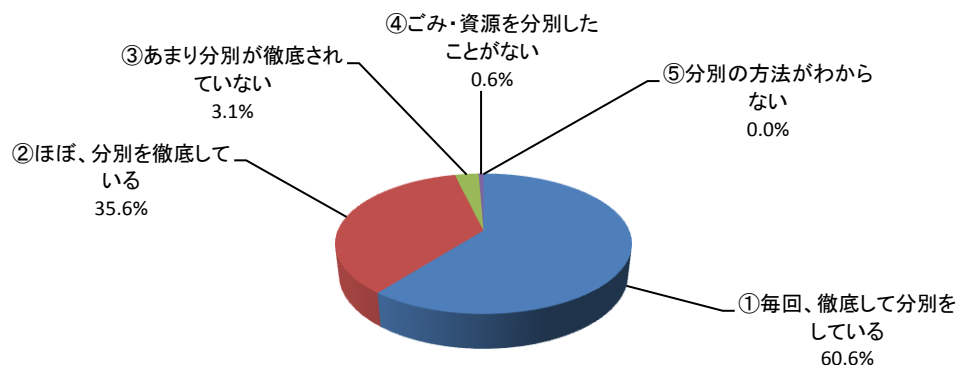
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	出かけるときには、毎回持ち歩いている(買い物の予定がなくても)	72	45.0%	男性	25	0	13	10	2
				女性	47	0	21	19	7
②	買い物の予定があるときには、ほぼ毎回持っていく	53	33.1%	男性	28	4	6	12	6
				女性	25	5	15	5	0
③	買い物の予定があつて、気がついたときには持っていくようにしている	30	18.8%	男性	18	0	14	4	0
				女性	12	1	6	5	0
④	マイバッグを持ち歩いたことがない(買い物の予定があつても持ち歩かない)	5	3.1%	男性	4	0	3	0	1
				女性	1	0	1	0	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問14 あなたは、ごみ・資源の分別を徹底していますか。(〇は1つ)

N=160

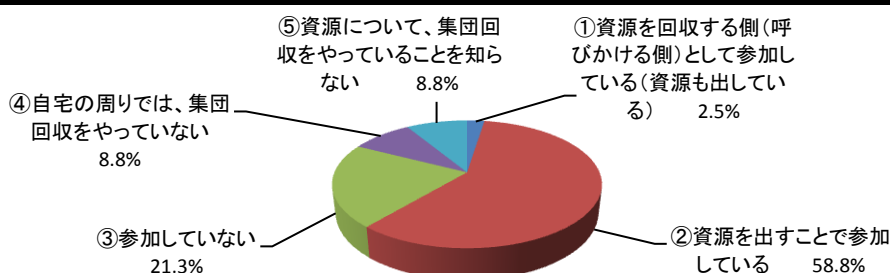
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	毎回、徹底して分別をしている	97	60.6%	男性	45	1	18	18	8
				女性	52	3	19	24	6
②	ほぼ、分別を徹底している	57	35.6%	男性	27	2	16	8	1
				女性	30	1	23	5	1
③	あまり分別が徹底されていない	5	3.1%	男性	2	1	1	0	0
				女性	3	2	1	0	0
④	ごみ・資源を分別したことがない	1	0.6%	男性	1	0	1	0	0
				女性	0	0	0	0	0
⑤	分別の方法がわからない	0	0.0%	男性	0	0	0	0	0
				女性	0	0	0	0	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問15 あなたは、資源の集団回収に参加していますか。(○は1つ)

N=160

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	資源を回収する側(呼びかける側)として参加している(資源も出している)	4	2.5%	男性	3	0	2	1	0
				女性	1	0	0	0	1
②	資源を出すことで参加している	94	58.8%	男性	40	1	16	17	6
				女性	54	2	27	22	3
③	参加していない	34	21.3%	男性	23	3	12	6	2
				女性	11	2	4	4	1
④	自宅の周りでは、集団回収をやっていない	14	8.8%	男性	6	0	3	2	1
				女性	8	1	4	1	2
⑤	資源について、集団回収をやっていることを知らない	14	8.8%	男性	3	0	3	0	0
				女性	11	1	8	2	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問16 あなたは、エコマーク(※2)・グリーンマーク(※3)の付いている商品を購入・使用していますか。(○は1つ)

※2 エコマーク…

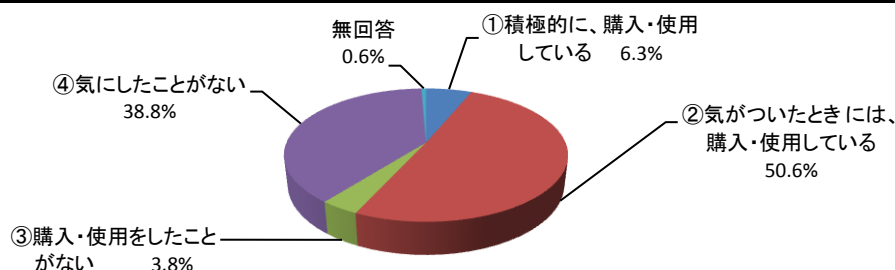
様々な商品(製品およびサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルのこと。(エコマーク事務局HPより)

※3 グリーンマーク…

古紙利用製品の使用拡大を通じて古紙の回収・利用の促進を図るため、古紙を原料に利用した製品であることを容易に識別できる目印のこと。(古紙再生促進センターHPより)

N=160

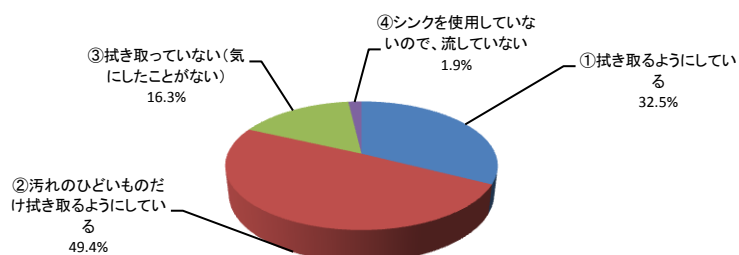
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	積極的に、購入・使用している	10	6.3%	男性	8	0	3	3	2
				女性	2	0	0	2	0
②	気がついたときには、購入・使用している	81	50.6%	男性	30	1	15	12	2
				女性	51	3	26	16	6
③	購入・使用をしたことがない	6	3.8%	男性	5	0	3	2	0
				女性	1	0	0	1	0
④	気にしたことがない	62	38.8%	男性	32	3	15	9	5
				女性	30	3	17	10	0
無回答		1	0.6%	男性	0	0	0	0	0
				女性	1	0	0	0	1
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問17 あなたは、排水に生ごみや油が混入しないよう、食器などを洗う前に紙や布で拭き取るようになっていますか。(○は1つ)

N=160

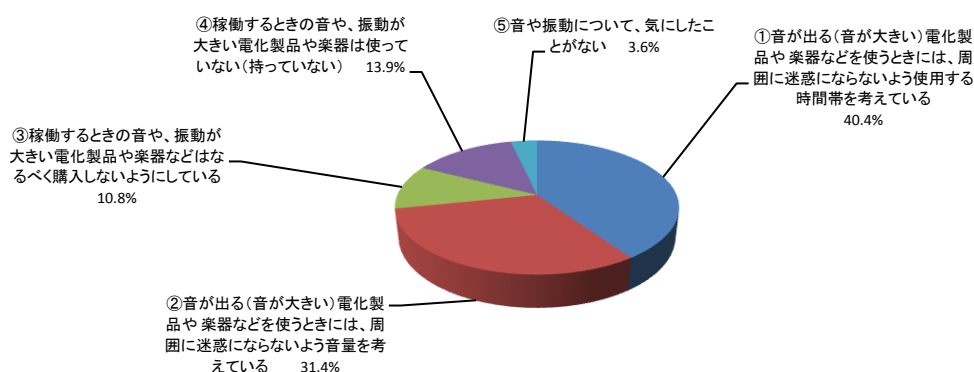
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	拭き取るようにしている	52	32.5%	男性	25	1	10	9	5
				女性	27	2	10	11	4
②	汚れのひどいものだけ拭き取るようにしている	79	49.4%	男性	30	2	14	10	4
				女性	49	3	28	15	3
③	拭き取っていない(気にしたことがない)	26	16.3%	男性	18	1	11	6	0
				女性	8	1	4	3	0
④	シンクを使用していないので、流していない	3	1.9%	男性	2	0	1	1	0
				女性	1	0	1	0	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問18 あなたは、日常生活で騒音や振動の抑制を心がけていますか。(複数回答可)

N=160

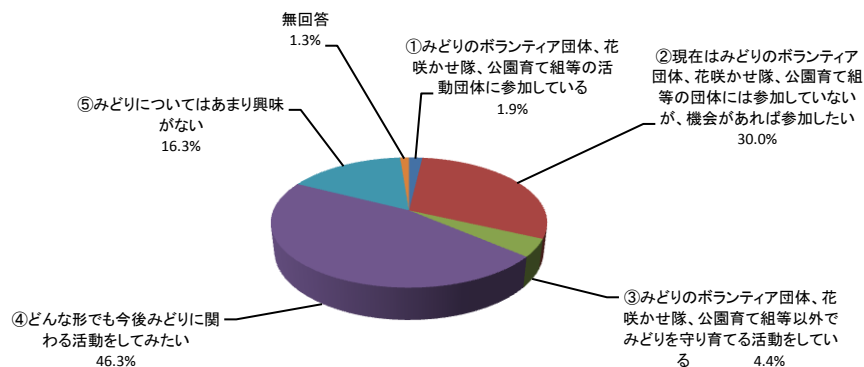
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	音が出る(音が大きい)電化製品や楽器などを使うときには、周囲に迷惑にならないよう使用する時間帯を考えている	90	40.4%	男性	37	3	19	12	3
				女性	53	4	29	16	4
②	音が出る(音が大きい)電化製品や楽器などを使うときには、周囲に迷惑にならないよう音量を考えている	70	31.4%	男性	29	3	13	12	1
				女性	41	3	17	18	3
③	稼働するときの音や、振動が大きい電化製品や楽器などはなるべく購入しないようにしている	24	10.8%	男性	6	0	5	0	1
				女性	18	1	7	5	5
④	稼働するときの音や、振動が大きい電化製品や楽器は使っていない(持っていない)	31	13.9%	男性	16	0	7	6	3
				女性	15	1	8	6	0
⑤	音や振動について、気にしたことがない	8	3.6%	男性	5	0	1	3	1
				女性	3	0	2	1	0
合計		223	100.0%	男性	93	6	45	33	9
				女性	130	9	63	46	12



問19 あなたは、みどりを守り育てる地域活動に参加していますか。(○は1つ)

N=160

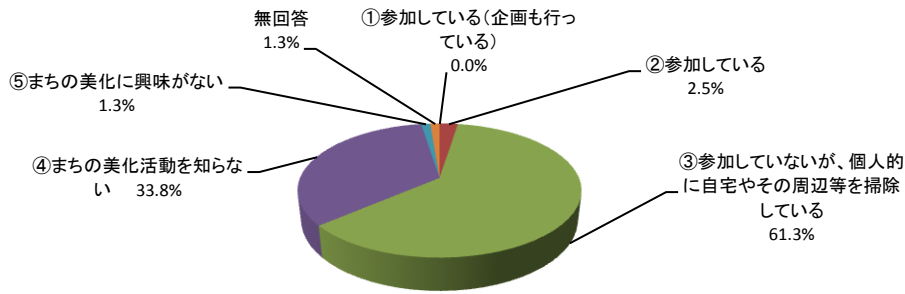
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	みどりのボランティア団体、花咲かせ隊、公園育て組等の活動団体に参加している	3	1.9%	男性	3	0	1	2	0
				女性	0	0	0	0	0
②	現在はみどりのボランティア団体、花咲かせ隊、公園育て組等の団体には参加していないが、機会があれば参加したい	48	30.0%	男性	19	0	8	7	4
				女性	29	1	15	9	4
③	みどりのボランティア団体、花咲かせ隊、公園育て組等以外でみどりを守り育てる活動をしている	7	4.4%	男性	3	0	0	3	0
				女性	4	1	2	1	0
④	どんな形でも今後みどりに関わる活動をしてみたい	74	46.3%	男性	34	2	19	10	3
				女性	40	2	19	17	2
⑤	みどりについてはあまり興味がない	26	16.3%	男性	16	2	8	4	2
				女性	10	2	7	1	0
無回答		2	1.3%	男性	0	0	0	0	0
				女性	2	0	0	1	1
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問20 あなたは、まち(自宅やその周辺を含む)の美化活動に参加していますか。(○は1つ)

N=160

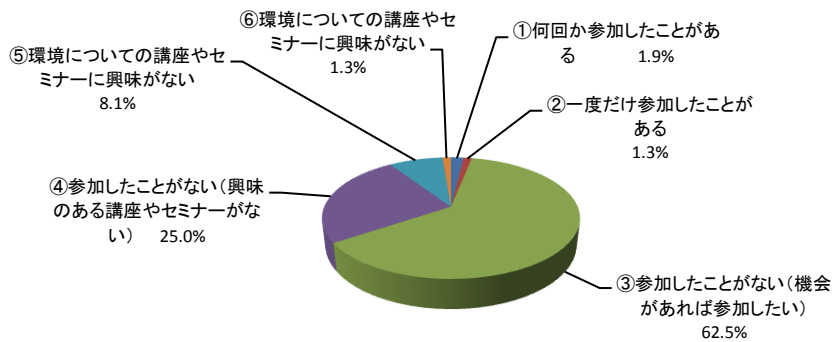
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	参加している(企画もやっている)	0	0.0%	男性	0	0	0	0	0
				女性	0	0	0	0	0
②	参加している	4	2.5%	男性	2	0	0	1	1
				女性	2	0	1	1	0
③	参加していないが、個人的に自宅やその周辺等を掃除している	98	61.3%	男性	44	0	20	18	6
				女性	54	2	25	20	7
④	まちの美化活動を知らない	54	33.8%	男性	27	4	14	7	2
				女性	27	4	17	6	0
⑤	まちの美化に興味がない	2	1.3%	男性	2	0	2	0	0
				女性	0	0	0	0	0
無回答		2	1.3%	男性	0	0	0	0	0
				女性	2	0	0	2	0
合計		160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
				女性	85	6	43	29	7



問21 杉並区では、環境活動推進センター等で環境についての講座やセミナー等を実施していますが、あなたはその講座等に参加したことがありますか。(〇は1つ)

N=160

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	回数	割合	男性	女性				
① 何回か参加したことがある	3	1.9%	男性	1	0	1	0	0
			女性	2	0	0	1	1
② 一度だけ参加したことがある	2	1.3%	男性	1	0	0	1	0
			女性	1	0	0	0	1
③ 参加したことがない(機会があれば参加したい)	100	62.5%	男性	45	2	18	18	7
			女性	55	4	23	25	3
④ 参加したことがない(興味のある講座やセミナーがない)	40	25.0%	男性	22	1	13	6	2
			女性	18	1	14	2	1
⑤ 環境についての講座やセミナーに興味がない	13	8.1%	男性	6	1	4	1	0
			女性	7	1	6	0	0
⑥ 環境についての講座やセミナーに興味がない	2	1.3%	男性	0	0	0	0	0
			女性	2	0	0	1	1
合計	160	100.0%	男性	75	4	36	26	9
			女性	85	6	43	29	7



問22 その他、環境基本計画や環境配慮行動指針について、ご自由にお書きください。

・更地があるとすぐ分譲で売り出されるが、環境保全を本気で考えるなら、こうした業者の参入を阻止又は規制し、空地は空地のまま遊ばせておくわけにはいかないか。昭和の頃は「空地」が子どもの遊び場であり、雑草、虫、小動物の宝庫でもあった。子どもの創造力も育つし、緑の自然があちこちにある町であって欲しい。

・一番影響が及ぼすのは木々のある家(庭付き)が相続税の為、土地を売却し、当然ながら木々も根こそぎ切って無くなっていることがほとんどである。大きな庭にある木を、杉並区保護樹木に指定して、相続税のため物納する場合、庭にある木々(樹木)を残すようにするしか方法はない。とにかく、相続税を捻出するため大きな庭(樹木つき)を更地にして宅地にして売ることが、一般化していることが大問題である。

・地価の上昇と相続税のためだと思うが、一筆の敷地を細かく分筆して販売しているのを多く見かける。敷地が狭くなるため建物と駐車場で目いっぱいになることが多い。庭木や草花が減ることは生物の多様性に影響するのではないかと思う。庭で土であった面がコンクリートなどになってしまうと、雨水もしみこまなくなり豪雨の際の水害にもつながるのではないか。また、住宅の極度の密集は騒音等近

隣問題が起こりやすいので住環境の悪化を招く可能性もあると思われる。所有者の希望があれば広い敷地を広いままで活用できるような方法や仕組みが空き家対策も含め必要だと思う。

- ・今回アンケートを記入するまで知らなかったが、西荻の駅前でボランティアの方々がお花をきれいに植え替えて下さるのを見たり商店街でも心がけてきれいにされているのは見ていた。個人的に節電など(そうじはほうきにしたり、庭の手入れや家の前の落ち葉の掃除、玄関先に花を植えたり)している。やれる事はやっているつもりだが、地域活動にはどんな事があり、参加したいときどうすればよいかわからなかった。(20年住んでいるが人とつながりが薄いからかもしれない。)庭の落ち葉や土など大量にゴミが出るが、昔みたいに焚火をすると煙で迷惑かけてしまうので出来ない。何か良い方法はないものかと思う。
- ・自治会に入っているが、実際は回覧板が回ってくるだけ…なので、地域活動に興味があっても参加の仕方がわからない。広報も毎回目を通してはいるが、自分の住んでいる地域での情報は少ない。(杉並南部地区…)講座やセミナーにも自宅からすぐ気軽に行くことが出来ないから、もっと区内全域で情報を共有できるようにして戴けるとありがたい。「何かしたい(地域活動等)」と思ってもどう行動するのか解らない人が多いと思う。
- ・杉並区は緑や公園・神社も多く、手入れも大変行きどいと感している。この美しく住みやすい環境を保てるように協力できる事があれば、もっと参加しやすい(どう参加すれば良いのか分からないので分かりやすい)形で発信して頂ければと思う。
- ・自治会の役員や無料ボランティアで近隣の公園等の掃除をしているが、わが身さえ良ければ、我が家族さえ良ければという輩が多すぎ、不審な人や他人とはくちを聞きちゃダメみたいな地域性じゃ、なにも調和は生まれず、情けない世の中だとつくづく思う！他人の為に生きて自分も生かされるという発想はないのか？
- ・都営住宅周辺の清掃は、その住人も参加するよう促した方が良いのではないか。
- ・①緑化された庭などに対して、固定資産税の減免をすべき。(300㎡以下でも)②日照権を守るためたとえ商業地域であっても5階以上のビルは許可しない規制をすべき。③まちの美化運動をすすめるため、ボランティア等を募集したり支援したりして戴きたい。
- ・自然や緑が多い町は、環境に優しいだけでなくリラクスの効果や見た目・景観にもプラスになる。荻窪駅も広場のスペースがつくられみどりが増えたが、広場にもっと自然を増やしても良いのではないか。
- ・住民の一人一人が小さい緑化運動を心がける良い街にしたい。我が家でも芝生を育て、花を咲かせる努力をしている。もっともっと緑化に努力する所存です。
- ・雑木林が減少している感じがするので、増やして欲しい。
- ・美しい街をみんなで護っていききたい。庭の樹木の手入れ等にも補助があると良いと思う。
- ・荒れた林や空き家があるのが気になる。そういうところをきれいな緑化地区にしてくれたらいいのと思う。
- ・西荻窪駅を利用する時は、いつも花壇の花がきれいなので心が和んでいる。花が多い街は泥棒が少ないというデータもあるそうなので、良いことだと思う。
- ・みどりの環境を守るという取り組みは大切だと思うが、子どもが声を出して遊ぶ公園を”うるさい””迷惑”ととらえる大人が多い事が悲しい。子どもが集まる場所＝みんなが楽しい場所となるよう、花や緑を守りつつ、自由に走ったりバットを使用出来たりできる空間を作って欲しい。
- ・緑が多く、空気のキレイな街に住みたい。最近、休日や夜間の道路工事にげんがりしている。道路工事よりはもっと緑を増やしたり、お花を増やす事にお金を使って欲しい。
- ・比較的緑の多い地域であると思うが、公園の場所に偏りがある。空地が多数整備されずに見受けられるので、もったいないと思う。(例;久我山運動場、高井戸駅西側)柏の宮公園のように整備して、子どもや老人、ペットの憩いの場として欲しい。
- ・善福寺川のカルガモの子どもを助ける取組をして欲しい。カルガモの子どもは、産まれてから2ヶ月経過しないと自力で飛ぶことが出来ないため、台風などの急な河川の増水時に飛んで逃げることが出来ない。だから台風が去った後には、必ず群れのうち数羽がいなくなっている。たかが野鳥の命と思われるかもしれないが、善福寺川周辺は、散歩する人やジョギングする人や保育園の子どもたちが利用する大切な憩いの場所である。ご検討をお願い致します。
- ・善福寺川の護岸工事で川の流れが溢れる事がなくなりとても助かっているが、緑が少なくなり以前いたカワセミの姿が見えなくなった事が少し寂しく感じる。
- ・自転車をよく利用するが、街中の放置自転車が何年も置きっぱなしだったり、道路はガタガタで駐輪場も満車が多く、よい環境ではない。
- ・公園の吸い殻や住宅街の落書きが目にも余るほどひどい。意識の共有に地域差があると感じる。(区の東側在住)
- ・生ごみが2m以上の山積みになっている集積所がある。
- ・ごみの分別カレンダーは便利だと思う。せつくなので、そこに色々加筆してみても如何か？
- ・一人ひとりの心がけで、より暮らしやすい街づくりがなされるのだと思う。ゴミの回収に関しても、場所やその人のライフスタイルによって、分別や出し方がバラバラだが、それが環境にとってどうかと考えら

- れると良いのだと思う。皆が気持ちよく暮らせるためには、何をどうしたら良いのか、どのような方法だと興味・関心をもたれるのかが、この計画を行動に移すポイントとなるのだと思う。
- ・区外からの転入者に、杉並区でのごみの分別や取り組みを説明してほしい。特に若い世代には、チラシを配って終わりではなく不動産業者か大家さんが必ず説明をするなどのことがあっていいのではないかな。
 - ・ゴミの分別収集を徹底して行き、再資源化を促進したい。また、区にも重点施策として欲しい。
 - ・省エネやゴミの分別などの自身の環境配慮は習慣的に行っているが、集団での環境配慮活動には参加のきっかけがなく、あまり興味もないため参加していない。このような区民にも一層の環境配慮活動を促す取り組み、きっかけ作りが必要だと思う。
 - ・杉並区は概ねきれいな街だと思っている。建物を新築した場合は、植樹をしなければならないという話も聞いており、行政が緑の町づくりに積極的な姿勢であることは素晴らしいと思う。最近ではカラスや野良猫のゴミあらし被害も我が家周辺では減ってきた。ゴミの収集時間帯が早くなったことや、ごみネットの無料貸与のおかげだと思う。ただし、我が家のように周囲にアパートが多く管理人や不動産会社が離れている場合は、ゴミ出しの日時や分別が徹底されず、近所住民の好意で何とかなっている状況である。ゴミの放置は火災や空き巣被害にも通じる。アパート住民(特に単身入居者)に対する環境配慮への呼びかけを行政側で更に行っていただけると有難い。隣に住んでいても顔も知らないのでは、なかなかコミュニケーションが取れない。
 - ・独居高齢者が急増している。特養やホームに移ると空家という防犯上も防災上もリスクな物件となる。死亡時や転売時には、引き取ってもらえない衣料品・日用品のみならず、家電品、家具、寝具などの粗大ゴミが残る。ゴミ・資源の収集まで、高齢者対策施設から警察との防犯システムから町内会活動の強化策の実行計画立案と実行をお願いしたい。日程的にはオリンピックを意識して実現できれば、広く注目を集め、困難で複雑さも軽減されるかもしれないと思う。
 - ・近隣の家のまわりに捨てられたゴミや商店街のおう吐物など、目にして不愉快な者に対し、どうしてよいか分からず通り過ぎる事が多い。きれいな街であってほしいと願うが、各場所の個人や商店の対応に依存するしかなく、限界を感じる。
 - ・計画は構わないが、日本人は、ポイ捨てしてもあまり罪悪感がないのか、道路や駐車場をはじめ、自転車のかごや人のうちの植え込みにまでごみを捨てたりしている。ゆえに、やる側の自覚がないとやらないし続かないと思う。私は、ヨーロッパに旅行した際、普通の町中の道路や高速道路脇にもポイ捨てがなく、きれいなことに気が付き、日本人の人の質の低さを恥ずかしく思うという経験をした。それから特に気をつけ、子供にも小さなときからポイ捨てしないよう言うてきて実行させてきた。このように、“恥ずかしい、いけないことだ”ときちんと認識する機会がないと、やってしまう人はやってしまう。きちんとすすめたいのであれば、罰則を設けるなどして実施しなければ形だけで終わってしまうと思う。実際、私の住んでいるあたりは、歩きたばこNGで道路にも書いてあるが、朝晩の通勤時間帯にタバコ片手に歩いている人が結構いる。人の意識の問題なので、そこに届くような言い方ややかたをしないとなかなか実行には移されないと思う。形だけでなくいいやかたを考えてほしい。
 - ・荻窪駅北口のバスロータリーに設置してあるタバコの喫煙所を撤去するか外から見えないようにしてほしい。バスの降車場所から近く大変煙たい。また小さい子供も通るので。
 - ・タバコを何とかしたい。例；パチンコ屋から大量の煙が道路に排気口から流されている。道路で息を吸い込むと苦しい。これは、排ガスと同様、行政側で、基準値以下にして、外に出すよう指導できないのか？(永福町北側)
 - ・まずは誰でも出来る吸い殻やゴミのポイ捨てを徹底的に廃止し、小さなゴミ箱を設置してゴミがあったら自宅の周りだけではなくどこでも拾ってゴミ箱に捨てる運動から開始しよう。
 - ・近隣にアパートの住人が増加している。当該住人は地域の帰属意識が低く家の前の道路の清掃、ゴミ出し日、仕分けは守らない。タバコのポイ捨てをする等の問題行動をする人が多く見受けられる。基本計画や行動指針等を言う前に、アパートの所有者と共にモラルの向上運動を要望する。基本計画や行動指針を決めるだけでなく評価項をしっかり行動結果の評価及び是正処置を伴うような行動を希望する。
 - ・車やバイクのアイドリングについて、日本であまりにも意識が低いことに憤りを感じている。私は30年前にドイツに住んでいたが、当時から車がアイドリングしたまま駐車スペースに一時停車していると、警官が近付いてきて、エンジンを切るように注意された。学校でも教えていた。日本がこの問題に本気で取り組みたいのなら、子どもの教育の時点から徹底して全国民に対してやらないと、いつまでたっても空ふかしの悪習は改まらないのではないかなと思う。
 - ・私は自動車の整備士だが、アイドリング・ストップ運転に関して間違った知識を持つ人が多い。古い車(アイドリング・ストップ非対応)の車でアイドリングストップ運転をしても、バッテリーの消耗は早まり、また始動時に多量のガソリンを使うため、逆にエコでも何でもない。そういった知識の共有は大切だと思います。
 - ・ガソリン車を減らし電気自動車を増やしていきたい。環境に無頓着な国には国連等を通じて警告していく。
 - ・学校など大きな建物が壊されると周りの大木(特に桜など)もあっさり根本から切り倒されてしまうので

残念。杉並区は住宅地もあるのに年々木が減っている。ので植林をしたらどうか。また、移植出来るものはやっつてはどうか。特に夏の日陰や酸素を出すので、これからヒートアイランド化するのに少しでも木が必要では？緑があると癒される。

・善福寺川公園での、犬の散歩の時ガラス類を気をつけて拾うようにしている。けっこう、ガラス類(ガラスの破片)は落ちている。危ないので気をつけて拾うようにしている。缶やペットボトルも拾うように気をつけている。それから鳥やのらねこを大切にしたい。お願いします。

・環境基本計画・環境配慮行動指針という言葉にはなじみが無かったが、内容を聞くと身近な事が多く、各々が少し気付けば良くなっていく事ばかりだと感じた。とっつきやすい言葉を用い広報していくのが良いと思った。

・私は現在集合住宅に住んでいるが、上の階の人が時々大音量で音楽をかけている。都会の人口密集地帯では、音やゴミ等あらゆることに、人々が気を配らなければいけない。意識を呼び起こす活動も大切かもしれない。

・住みやすく環境の良いきれいな街、杉並になると良いと思う。特に子どもの遊び場、公園、路上、飲食店での喫煙は徹底して禁止してほしい。

・区民一丸となって取り組むのが良い。

・商店街通りのケヤキの花壇にお店の立て看板が入り込んでいて気になるが、どのように対処したら良いのか悩む。あちこちとヒラヒラ宣伝の為の薄汚れた旗が立てられ、夜間もそのままにしてある店には、美化指導等を行えばきれいになるのではないか。

・環境を守るためには、一人一人の行動が大事なので、区民にもっとアピールして良いと思う。

・環境基本計画や環境配慮行動指針について全く知らなかった。もっと周知した方が良いと思う。もったいない。

・近隣住民のゴミの出し方が悪く(前夜に捨てる。分別できない。回収日以外の日に捨てる。)困っている。もっと区の住民の方々に広く環境基本計画について知ってもらおう、周知できればよいと思う。

・基本計画そのものを知らなかった。簡単な冊子にし学生に配布した方が良い。(各家庭配布ではコストがかかり過ぎる)

・計画や指針といった形として掲げるのではなく、一人一人が個人や家庭など身近で実行出来たらよいと思う。幼児期などから教育？実体験としてやれたら良いと思う。

・関心はあるが、区の計画等を知る機会があまりない。いろんな区のイベントでの周知や、また子どもたち(幼、保、学校など)にも、積極的に知らせてほしい。

・「環境基本計画や環境配慮行動計画指針」について、名前がかたくてわかりにくい。もっといろいろな人にマナーのような形で周知してもらえるよう内容をアピールするべき。

・区独自の取組であれば、もっと周知されるようアピールした方が良いと思う。

・一人暮らしの若者にも知ってもらえるように工夫できたら良いと思う。

・広報を使って広告(周知)した方が良いのでは？

・人が生活している上で、環境に対応する認識は非常に大切なことだと思う。地域でのいろいろな取組や活動も、機会が無いとなかなか参加する(行動する)事もないので、区民(地域住民)への喚起の必要性を感じる。(普及・啓発活動の重要性)

・なぜ環境問題に取り組む必要があるのか、その点も周知する必要があるように感じる。

・「環境基本計画」の存在を認知させるために、町中に目につくポスターなどを掲示し、言葉だけでも広めていくと良いと思う。

・ポスターなどで具体的に個人ができることを分かりやすく広めて行くのが良いと思う。計画・行動指針などと書くと取っ付きにくいと思われる気がするのでそこは小さく。皆で住み良い街にしたい。

・数字の視覚化が必要かと思う。具体的に私たちに出来ることなどHPで常時表示する手軽に参加できるものを、もっと周知して欲しい。

・周知啓蒙活動ならびに実際に活動する機会を作ることが重要。

・一般区民はあまり区の「広報すぎなみ」を見ない人が多い。直接自分達に関する記事も見ないで捨てるようだ。基本計画、方針等と堅苦しい記事とならばおさらである。周知させる方法を考える必要が大きいと思う。

・そもそも言葉が良くわからないので、みんなが興味を持つように広報活動をする努力をするべきだと思う。興味があれば何か行動したい。

・基本計画にある5つの目標が分かりにくい。イベントを通じて周知させるのであれば、目標を達成するところな杉並区になる、というのをビジュアルで、小学生や外国人でもイメージできるように。クイズ(子供には商品をあげる)とか、紙芝居風パネルとか。

・せっかくな環境基本計画や環境配慮行動指針があるので、広報や区のホームページで特集を組むなど、もっと目立つ周知を行った方が良いと思う。周りの人にも聞いてみたが、知っている人がいなかった。

・市民が参加しやすいイベントなどを通じて普及啓発に努めていくのがよいと思う。平日のみではなく休日、家族参加型、面白いイベント(いわゆるお役所のほのぼのしたものではなく、センスのあるもの)等にもチャレンジしてほしいと思う。東京都が編纂した「東京防災」のブックレットはセンスがあったように思う。

SNS等の活用なども検討しては、環境にやさしい物品購入を呼び掛ける地域振興券等アイデアはたくさんあると思う。

- ・仕事と育児に追われ、なかなかじっくり考える機会がない。特別なものに参加しなくても、日々の生活の中でできることを知りたい。
- ・互いの環境について、さまざまな形で絶えず啓発啓蒙し、皆の参画を促していくことが大切と思う。その繰り返しで意識が高まり、環境の改善も進むのではないか。
- ・問21の杉並区に行っている講座やセミナーがあることを全く知らなかった。杉並区は様々なことを行っている方だと思った。
- ・セミナーに参加したいが、年齢が80歳を超え、出かける事がおっくうになってきた。しかし、家の前の道路を、隣家が留守なのでよくごみを掃いている。
- ・公共施設が率先して具体的活動をし区民への啓蒙運動とされてはどうか。
- ・「環境基本計画概要版」を読んだが、計画の背景、趣旨、目標、進行管理につき、平易かつ具体的に書かれている点は評価できる。しかし、他例に漏れず、お役所仕事の作文という感じが否めない。行政・企業・区民を叱咤激励し、どのくらいの投資効果を念頭に、日本の自治体のどのくらいの地位を目指そうとしているのか、目標必達を目指してけん引する行政の責任者の顔がみえない。3～5年を頑張りと、振り返って区民が充実感の感じられる計画実現に向けた計画の見直しが必要と思われる。
- ・環境基本計画・環境配慮行動指針というものを初めて知った。機会があれば、どのようなものなのか知りたいと思った。特に個人で無理なく続けられる行動があれば知りたいし、やってみたい。
- ・現代社会における人間活動は、「全てにおいて自然のバランスを崩した上で成り立っている」ということを自覚したところから今の生活を見直す事が大事だと思う。物を大切に、「あって当たり前」という考えは変えないといけないと思っている。
- ・自分の住む自治体がこうした取り組みをしていることを知り嬉しく思う。将来に繋がる大切な事であり、また、自分達が暮らす街への愛着にもつながることでもあり、住民への周知により工夫をして頂ければと思う。
- ・今後、家電を買い替える際には、省エネタイプを購入するようにしたい。
- ・小型家電リサイクル法が施行されたので、杉並区でも小型家電の回収方法を確立して欲しいと感じています。
- ・杉並区はマイバッグの推進など、環境の取組に積極的なので、今後も日常生活で皆が取組んでいけるような方策を考えていくことを期待している。
- ・環境基本計画について知らなかったの、これから勉強したい等。(同様意見、3件)
- ・今まであまり知らなかったが、今後関心を持って協力したいと思う。
- ・環境基本計画の5つの目標はとても良いと思う。緑は「生命の源」といわれ、私たち人間に癒しや憩いの機能だけではなく、環境改善や防災機能、景観への機能、経済への現象の緩和効果も期待されるので、一区民として出来る事から役に立ちたいと思う。
- ・計画や指針についてほとんど知らなかった。環境が良くなっていけば生活だけでなく、様々な良い影響があらゆる面で後々あらわれてくると思うので、この機会に興味を持つように心がけたいと思う。
- ・多くの方がこの行動指針を心がければ、より美しい杉並になると思う。
- ・活動も必要だが、個々人のモラルの方が重要だと思う。私の自宅周辺では、皆意識が高く近隣で環境面で気になることはあまりない。
- ・アンケートを答えながら、自分がどれだけ環境配慮を行ってないかわかった。今後改善していきたい。
- ・普段あまり気にしていなかったことを、アンケート回答をすることによって考える事ができた。
- ・杉並区は自然の緑に恵まれた美しい場所なので、ぜひ区民の意識を高め、環境活動を活発に行える機会を増やして欲しい。
- ・区レベルでやるべきことに絞り込んで、徹底して実施するようにしてほしい。
- ・我が家のまわりは「花咲かせ隊」の方たちが公園に花を植えたりしてくださっているようだ。家が密集している地域なので、なるべく道沿いに花を植えることで、近隣住民とのコミュニケーションをはかって、震災などの時に協力しあえる人間関係を築いていきたいと思っている。
- ・環境基本計画は大まかな目標や指針であり、具体的にどう行動するかが問題になると思う。たとえば、杉並区独自のエコポイントなどを予算化し、住民の意識を高めていくことも必要なのでは。
- ・環境問題は、国や自治体が主体となって推し進めていくことが大前提だと思うが、全て他人任せではなく、自分たち個々が、社会全体のために率先して自主的に常日頃心がけて実施していくべきものだと思う。
- ・公園のありかた(遊べる公園、単に環境のための空間的公園、いろいろの催しや避難所になる公園)の区分をしてほしい。
- ・環境改善には①空家対策②地元意識が薄い傾向にあるアパート形式の住人の意識改革の二点が重要になってきそうに思う。
- ・大変素晴らしいと感じた。杉並区全体のものとは別に地域ごと(北部、中部、南部や地域区民センター一管轄区域ごと)や学区ごとの基本計画もあれば住民がより環境基本計画を身近に感じる事ができるのではないか。

- ・性善説では限界がある。レジ袋や飲食店の紙コップ等の有料化、資源ごみのデポジットなど具体的な「お得感」による誘導が必要と考える。
- ・自然と調和した杉並区をめざしたい。
- ・井の頭公園の「かいぼり」のような活動を、善福寺川・神田川でやったほうが良い。
- ・自宅の周りの方は綺麗好きな方が多く、とても気持ちよく暮らしている。環境活動運動に携わりたい気持ちはあるが、時間的に会合に参加できなかつたりして入り込めない。もう少し気軽に参加できる形であれば、参加者も増え、街の美化や環境問題を考える機会が増えるのではないかと思う。
- ・天沼3丁目周辺道路が狭く、セットバックや電柱等の整備がされていない為、消防車や救急車が入れない状況。「目標Ⅳ 魅力ある快適なまちなみをつくる」を是非お願いしたい。
- ・杉並区は緑豊かな町。この環境が未来にも受け継がれるよう区民全員で取り組んでいく必要があると思う。
- ・「自然環境が保全され、さまざまな生き物が生息できるまちをつくる」とあるが、東八道路や久我山（IWATSUの前）の橋の架け替えなどで緑がどんどん失われており、行動指針とは真逆に思えるのだが如何お考えか??お陰で子供たちは安心して散歩や遊ぶ場が失われ、木々も姿を消し、秋には毎年拾っていた松ぼっくりも今年は姿を消した。皆一同に嘆いている。ほたる祭も今後どうなる事かと不安に思う。杉並区は環境に配慮しているかのようにその事を掲げているが、相反する自然破壊が進んでいるのだという事実にも目を向けて欲しい。
- ・すべての人と生き物にやさしい街づくりをお願いしたい。
- ・個人の心がけの問題なので役所がどうこう言っても効果なし。
- ・何を指すのか、名称からは内容がよく分からなかった。区がISOなどを取得したのだろうか。
- ・自由に外出が出来ない。
- ・計画をよく知らないので回答でない。
- ・スーパー（西友等）とコラボすると、新しい何か生まれると思われる。

平成27年度第3回区政モニターアンケート
集計結果報告書

平成28年1月発行

登録印刷物番号

27-0050(3)



杉並区役所

総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

TEL 03-3312-2111(代表)